第16代別當に 川口日璔猊下就任

就任のご挨拶

大本山 清澄寺 第16代別當
川口日璔

盛夏の候、清澄の霊山が深い緑に包まれ、生気に満ち溢れるこの佳き日に、この度清澄寺第十六代別当の重責を仰せつかりました。

去る七月六日、本山瑞輪寺におきまして井上日修管長猊下より直接辞令を拝受いたしました。当日は光岡宗務総長はじめ宗務内局の各聖、ならびに総代役員の皆様にもご同席を賜り、身の引き締まる思いと、身に余る光栄に感激をいたしております。

顧みますれば、この度ご勇退された齊藤日敬僧正におかれましては、四カ年に亘り寺門の興隆と護持運営に心血を注がれました。特に、道善御房第七五〇遠忌の報恩事業として歴代廟の整備を完遂せられたそのお姿とご尽力には、ただただ敬服と深甚なる感謝の意を表する次第でございます。長年のご労苦に対しまして、衷心より心からの慰労と御礼を申し上げます。

日蓮大聖人立教開宗の聖地であり、旭が森から昇る荘厳な日の出を仰ぐこの霊場に身を置くにあたり、その歴史の重みと使命の大きさを深く噛み締めております。私はこれまで、兵庫県神戸市の護国寺住職として寺門護持に努める一方、宗会議員（六期）、教務部長、宗会会派明和会会長、そして令和六年三月に就任いたしました宗会議長をはじめ、各種委員会の要職を拝命し、宗門の発展に微力を尽くしてまいりました。これまでの経験のすべてを捧げ、迎える日蓮聖人第七五〇遠忌に向けた聖地の更なる護持発展にむけて、微力ながら全力を傾け、当山の護持運営と寺門興隆に誠心誠意邁進いたす所存でございます。

結びに、全国のご寺院の皆様、当山総代役員会をはじめ檀信徒の皆様、本願人会・護山会の皆様、そして地域の皆様の温かいご支援とご指導を心よりお願い申し上げます。「皆帰妙法」の祖願達成に向け、皆様と共にこの聖地を守り、世界が安穏で平和に満ちたものとなるよう精進してまいります。なにとぞ、これまで同様、格別なるご厚情とご鞭撻を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

合　掌

清澄

令和８年７・８月
合併号

発　行　所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322－1
© 清　澄　寺
TEL 04（7094）0525 番
FAX 04（7094）0527 番
振 替　00140－5－55501
印　刷　所
天津　㈲ブラザー印刷

送料共１部１００円

お知らせ

9 月

13日14:00
虚空蔵菩薩大祭

20~26日
彼　岸　会

10 月

27日14:00
お　会　式

27日16:00
信行会（唱題行）

28日 5:40
暁 天 法 要

退任のご挨拶

大本山 清澄寺
第15代別當 齊藤日敬

盛夏の候、清澄の山々が深い緑に包まれ、生命の輝きが満ち溢れる季節を迎えました。この佳き日に、私は清澄寺別当の職を退くこととなりました。顧みますれば、日蓮大聖人立教開宗の聖地である当山の山門を預かり、寺門の興隆と護持運営という重責を担わせていただいた歳月は、私にとって誠に身の引き締まる、畏れ多くも尊い日々でございました。

思えば、自坊である東城寺の先師、長谷川泰忍僧正が当山の歴代別当を務められたという歴史的な御縁も、私にとっては大きな心の支えでございました。東城寺との深い法縁を鑑み、先師が築かれた伝統を次代へ繋ぐべく職務に励んでまいりましたことは、得難い経験でございました。

また、在任中は、本年ご遷化されました当山前住職・菅野日彰猊下より多大なるご慈悲とご教導を賜り、また引き続き井上日修猊下より格別なるご垂示を仰げましたこと、衷心より深く感謝申し上げます。両猊下の厳格ながらも温かいご指導を指針とすることで、至らぬ身でありながら大過なく今日を迎えられましたことは、偏に両猊下のご厚誼とご高配の賜物と深く胸に刻んでおります。

そして何より、全国のご寺院の皆様、当山総代役員をはじめ檀信徒の皆様、本願人会・護山会の皆様、地域の皆様から賜りました多大なるご支援とご協力に、厚く御礼申し上げます。皆様の赤誠溢れるご丹精と、聖地格護への深い志があったからこそ、山内の整備や諸行事を円成し、別当としての職責を全うすることができました。旭が森から昇る荘厳な日の出を拝むたび、皆様と共にこの聖地を支える喜びを噛み締めてまいりました。

退任後は一僧侶として、これまでの経験を糧に、微力ながら仏法興隆と皆様のご多幸を祈り続けてまいる所存です。後任の別当におかれましても、私同様、変わらぬご厚情を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

結びに、清澄寺の益々の隆盛と、本誌を手に取られた皆様のご健勝を祈念するとともに、「皆帰妙法」の祖願達成に精進し、世界が安穏で平和に満ちたものとなることを切に念じまして、退任の挨拶とさせていただきます。

合　掌

令和8年熊本地震被災物故者の霊位に御回向申し上げます。
被災された皆様に於かれましては、心身の健康と早期の復旧復興をお祈り申し上げます。

9月13日厳修
虚空蔵菩薩大祭

日蓮大聖人の御遺文、『善無畏三蔵抄』の中に、

「幼少の時より虚空蔵菩薩に願を立てて云く 日本第一の智者となし給へ」

と宗祖日蓮大聖人が当山でご修行の折、一心に祈願を行った虚空蔵菩薩の大祭が、9月13日に行われます。

当日は、午前8時半より随時特別祈祷が行われ、14時から川口別當御導師のもと、虚空蔵菩薩の御前において法要を営みます。

普段はお開帳をしましても、御簾（みす）が垂れておりますが、大祭当日は御簾を外しますので、虚空蔵様のお姿がはっきりと拝む事が出来ます。

是非、この機会にご参拝下さい。

盂蘭盆大施餓鬼会

盂蘭盆会は、ご先祖様をお迎えし、感謝の誠を捧げ『おもてなし』の行事です。

８月10日午前11時より、檀信徒先祖代々、当山本願人物故者、護山会会員各家先祖を回向する大施餓鬼会が、川口別當御導師のもと、本堂に於いて奉行されました。

施餓鬼会では、自分の家の先祖と共に四生六道法界万霊有縁無縁の諸霊位へ対し、法要の中で、

如以甘露灑
除熱得清涼
如従飢国来
忽遇大王膳

という文句を唱えます。

「甘露を以て灑ぐに、熱を除いて清涼を得るが如くならん。飢えたる国より来つて、忽ちに大王の膳に遇わんに」

という意味があり、全ての霊位に対し追善の誠を捧げました。

読経中、大森執事より卒塔婆供養の読み上げがなされ、参列者の皆様は、ご宝前でお経文の書かれた幡を立て、供物に灑水をし、お焼香を行い、志す諸霊位にそれぞれの思いを届けられました。

法要終了後には、川口別當より参列者へ御礼の挨拶と先祖の供養の大切さの重要性についてのお話がありました。

妙見宮大祭

摩尼殿の裏手には当山の奥之院妙見宮があり、清澄山の根本鎮守である北辰妙見大菩薩がお祀りされております。

本年も7月21日のみ開催、晴天にも恵まれ、年に一度の妙見菩薩の大祭が行われました。

川口別當の法味言上によってお開帳された妙見菩薩は、一年振りにご尊顔を現され、山務員の読経の声、木剣修法による祈祷が盛大に行われ、漁業関係の方をはじめ、大勢の方にご参詣頂きました。

令和８年度 第１回 度牒交付式

令和8年度第1回度牒交付式が、7月23、24日の行程で開催されました。

全国各地の寺院から52名の度牒生と付添者が来山されました。

受付を済ませた度牒生は、先ず魔尼殿に奉拝し、その後、仏前所作や読経テスト、交付式の予行演習など、ハードなスケジュールをこなしておりました。

翌日24日、午前4時起床、旭が森旭日遥拝、5時20分より光岡潮慶宗務総長を大導師に度牒交付式が執り行われ、度牒生一人ひとりに輪袈裟と証書が手渡され、度牒生代表の発音により、全員で仏道修行への邁進を仏祖三宝にお誓い致しました。

昆虫観察会

7月25～26日の二日間、千葉県立中央博物館の専門家講師をお迎えし、親子で自然とふれあう体験学習「昆虫観察会」を開催しました。

当日は30名の参加で、1日目は夕方から観察場所の下見、ライトトラップの設置から夜は観察で終了。

2日目は、昆虫採集道具と採集説明、その後、東大演習林内に入り、昆虫観察と盛りだくさんの内容でした。

寺子屋子供道場

当山研修会館を会場とし、千葉県南部日蓮宗青年会主催の「寺子屋子供道場」が7月29日～30日の1泊2日でスタッフ・道場生合わせて総勢60名の皆様に御参籠頂きました。

両親のもとを離れ、緊張と不安で始まった寺子屋も、日青会の様々なカリキュラムを仲間と一緒に取り組んで行く中で、笑顔も増え次第に仲良くなりました。

わずかな期間ではありましたが、普段の日常生活では味わうことの出来ないお寺での生活を通じ、子供達の心と体の成長の一助となる貴重な体験になったことと思います。

志學館高等部 夏期合宿ゼミ

志學館高等部(木更津市)夏期合宿ゼミが、8月3日から7日までの4泊5日にわたって開催、11名の生徒が参加されました。

早朝より起床し朝食を済ませた後、講義等が始まり、夜中12時近くまでそのカリキュラムが続きました。

朝勤には最終日の7日に参列し、生徒は各々自分自身の志望校受験合格、学力増進を日蓮聖人も智慧を授かった、虚空蔵菩薩にお祈りしつつ心をこめて御焼香をしておりました。

朝勤後、宮崎執事長より生徒一人ひとりに学業守を手渡し、激励の言葉がありました。

談話室

7月6日に、当山住職井上日修管長猊下より、辞令を頂戴し、川口新別當が就任されました。

宮崎執事長はじめ、当山の山務体制は変わりませんが、日蓮聖人750遠忌に向け、当山の更なる護持運営に山務員・職員一同邁進する所存であります。

尚、別當就退任式は、令和9年4月に予定しております。

本年も、梅雨明けと同時に、猛暑に見舞われ、各地で40度を超えるニュースが連日放送されております。

今年から40度以上となった日を気象庁の公式予報用語として「酷暑日」という言葉が、使われており、その名の通り、本当に異常気象が続いております。皆さまもこまめな水分補給など体調管理には気をつけて下さい。

来月13日には虚空蔵大祭がございます。山務員一同御参詣お待ち申し上げております。